

やさいレポート（令和5年7月号）



トマト



発行日：令和5年7月7日

1. 卸売価格の動向

○378 円/kg（7月4日）

➤ 平年比：115%

○7月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○549 円/kg（6月全国平均）

➤ 前月比：89%、平年比：105%

➤ 東京：343 円（4玉）

➤ 大阪：105 円（1玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：7/20（前月7/20）

➤ 大阪：6/10（前月5/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○424 g/人（5月全国平均）

➤ 前月比：123%

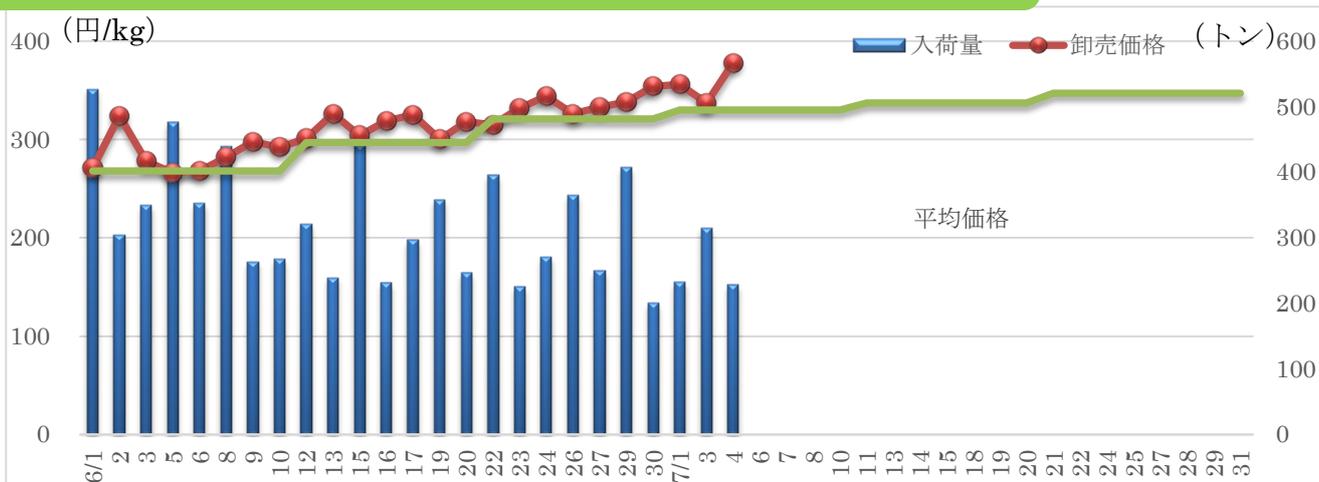
➤ 前年同月比：95%

○3,783 g/人（2022 年年間）

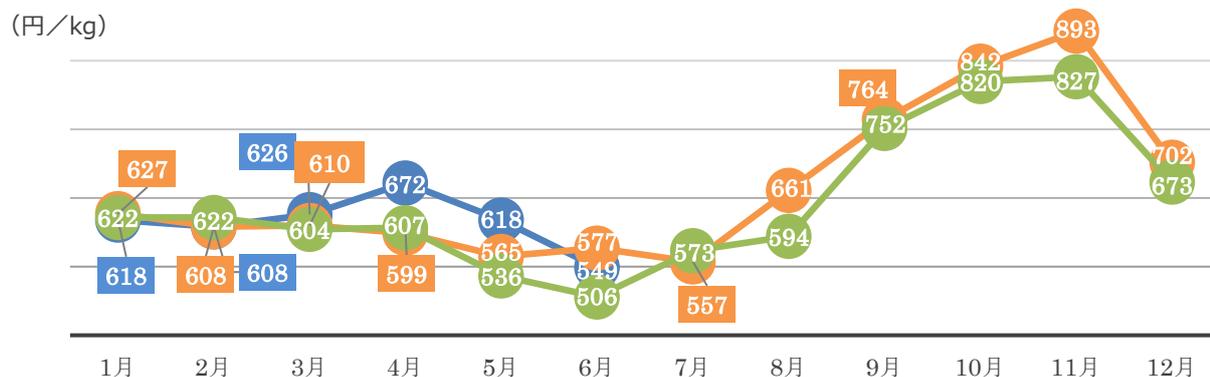
➤ 前年比：93%

（総務省統計局家計調査）

4. トマトの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. トマトの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県津軽北西部 (6/16)	前年並み	平年並みを見込む	早い	-
宮城県東松島市 (6/22)	減少	平年並み	平年並み	平年並みを見込む
福島県会津 (6/20)	前年並み	平年並み	やや遅い	-
岐阜県飛騨 (6/23)	増加	平年並み	平年並み	平年並みを見込む
山口県阿東地区 (6/27)	前年並み	平年並み	やや遅い	-
大分県竹田市 (6/12)	前年並み	平年並み	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



宮城県東松島市：ハウス内の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (7/01~7/28)

週別の天候				
7/01~7/07	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
7/08~7/14	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
7/15~7/28	北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮トマト)

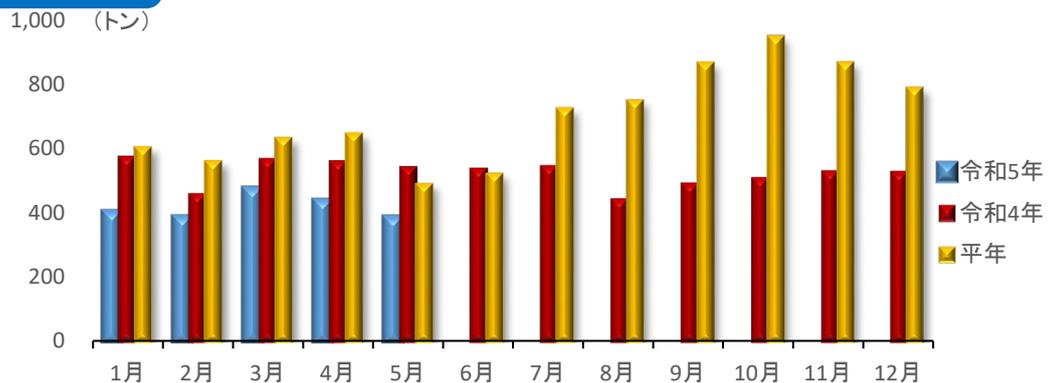
○382 t (5月輸入量)

➤ 前年同月比：71%

○輸入先国ベスト3

- 1位 韓国 297トン
- 2位 カナダ 81トン
- 3位 メキシコ 3トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

6月は、静岡産、熊本産、愛知産、栃木産、千葉産などの促成作型が終盤に入ったことに加え、入梅後の曇雨天で着果、肥大が緩慢になったことから入荷量が伸びず、価格は平年を上回りました。

7月は、福島産などの東北産が入荷の主体となり、これらの産地が気温高で順調な着果、肥大、着色となっていることから市場入荷量は安定し、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>
〈問い合わせ先〉

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793